

『おとうとのねじまきパン』

ずっとむかし、満州という国であったこと』
高橋 うらら 著 合同出版



かつて、日本は中国大陸の東北部を占領して「満州」という国をつくりあげました。この本は、4歳の時に家族で満州に渡った、原和子さんという方の体験をもとに書かれた物語です。

1945年、和子さんが6年生の時に日本が戦争に負けて帰国することになります。帰国するまでには沢山の困難が待ち受けていました。

『ラッキーボトル号の冒険』

クリス・ウォーメル 作 柳井 薫 訳
徳間書店



家出して乗り込んだ船が嵐で難破し、一人孤島に流れ着いた10歳の少年ジャック。しゅれこうべをみつけ、怪物のようなカメに襲われそうになっておびえるジャックの前に、先に漂着していた大男があらわれる。男が暮らす洞穴には、天蓋つきのベッドなど、大邸宅にあるような豪華な家具が並んでいた。

このリストは、2024年に出版されたなかから5・6年生のみなさんにおすすめの本を掲載しています。

しながわしよかん 品川図書館	きたしながわ 北品川2-32-3	TEL 3471-4667 FAX 3740-4014
ふたばしよかん 二葉図書館	ふたば 二葉1-4-25	TEL 3782-2036 FAX 3782-9430
えばらしよかん 荏原図書館	なかのぶ 中延1-9-15	TEL 3784-2557 FAX 3784-8951
みなみおおいしよかん 南大井図書館	みなみおおい 南大井3-7-13	TEL 3761-6780 FAX 3768-7976
げんじまえしよかん 源氏前図書館	なかのぶ 中延4-14-17	TEL 3781-6273 FAX 5702-4190
ゆたか図書館	ゆたかちよう 豊町1-17-7	TEL 3785-6677 FAX 5702-4035
おおいしよかん 大井図書館	おおい 大井5-19-14	TEL 3777-7151 FAX 3777-4970
ごたんだしよかん 五反田図書館	にしごたんだ 西五反田6-5-1	TEL 3492-2131 FAX 3492-4995
おおさきしよかん 大崎図書館	きたしながわ 北品川5-2-1	TEL 3440-5600 FAX 3440-5604
おおさきしよかんぶんかん 大崎図書館分館	おおさき 大崎3-12-22	TEL 3491-3430 FAX 3491-3291
やしおしよかん 八潮図書館	やしお 八潮5-10-27	TEL 3799-1414 FAX 3790-3442
おおさききにしぐち 大崎駅西口 としよとりぎしせつ 図書取次施設 (おおさきこども図書室)	おおさき 大崎2-11-1 大崎ウィズシティテラス2階	TEL 5487-6551 FAX 5487-6588

きゅうかん (所) び、かいかん (所) 時間などは、各図書館・取次施設におたずねください。

このリストの書影は、各出版社の許諾を得て使用しています。

2025. 10 発行

よんでみたいな！

5・6年生



『ぼくの色、見つけた！』

志津 栄子 作
末山 りん 絵
講談社

しながわくりつしよかん
品川区立図書館

『自分らしく、あなたらしく』

きょうだい児からのメッセージ』
高橋 うらら 著 さ・え・ら書房



病気や障がいのある兄弟姉妹がいる子ども「きょうだい児」。きょうだい児たちは、何を思い、どんな悩みをかかえているのか。そして、どのようにまわりの人たちから支えられているのか。高校生の中山穂乃果さんの場合を中心に、かつてきょうだい児で今は支援をしている人の話も取り上げて伝えるノンフィクション。

『ぼくらナイトバス・ヒーロー』

オンジャリQ.ラウフ 作 久保 陽子 訳
静山社

ヘクターは学校一の問題児。ホームレスの男性にいたずらをしたことをきっかけに、ホームレス支援をしているクラス的女子メイと接点ができます。その頃、街では彫刻の盗難事件が続き、現場に残るのはホームレスが使う暗号…。本当に彼らによる犯行なのか、疑問を感じたヘクターは事件の謎解きに乗り出します。



『ブルーラインから、はるか』

はやし けんじろう 作 ばんない たく 絵
講談社



夏休み、図書館で顔見知りになった風馬に、「自由研究として広島県と愛媛県を結ぶしまなみ海道を、自転車で往復するから、一緒に行かないか」と誘われた庫太郎。夏のどこかで一度くらい思いっきり遠くに逃げたいと思っていた庫太郎は一緒に行くことに。はたして2人はしまなみ海道を往復できるのでしょうか？

『食べ物のなぜ・不思議でわかる！』

さい 10歳からの「おいしい」科学
さいとう かつひろ ちよ 著
齋藤 勝裕 著
カンゼン



ピーマンが苦いのはどうして？クッキーやパンを焼くと、香ばしい香りがするのはなぜ？牛乳を飲んでお腹が痛くなる人とならない人のちがいは？これらには実は「カガク」が関わっています。いつも口になっているものに、どんな「カガク」が関わっているのか見てみましょう。

『スラムに水は流れない』

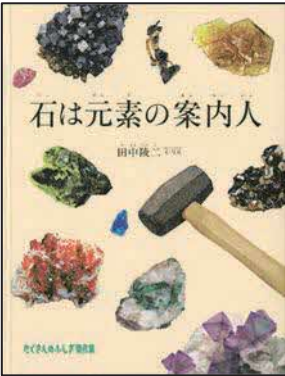
ヴァルシャ・バジャージ 著 ちよ むらかみ りか やく 訳
あすなろ書房



インド第二の都市、ムンバイのスラムに住むミーナは父、母、兄と暮らしています。スラムの家には水道が無いため、毎日共同の蛇口に水をくみに行きますが、最近の水不足に悩まされていました。ある日、兄の知り合いの車に乗せてもらい、とあるビルに停車します。そこで、給水車で水をくみ上げている男たちを目撃し…。

『石は元素の案内人』

いし げん そ あんないにん
たなか りょうじ ぶん しゃしん 写真
田中 陵二 文・写真
福音館書店



水、パン、自転車、犬、そしてあなた。世界のすべてが、たった90種類の元素という「つぶ」でできているって、知っていましたか？でも、全部つぶつぶなんて本当？それを確かめるヒントが石にあります。青や緑、黄色く透き通った石。どんなヒントがかくれているか、きれいで不思議な世界をのぞいてみましょう。

『おおなわ跳びません』

あかはね じゅんこ 作 まこかわい 絵
赤羽 じゅんこ 作 マコカワイ 絵
静山社



クラス対抗のおおなわ大会が迫る5年2組。制限時間内でより多くの回数を跳ぼうと熱が高まる中、生まれつき足が悪い双葉が大会に出ないことを宣言します。翌日から学校に来なくなった双葉をめぐり、クラスメイトは、双葉の本当の気持ちやおおなわ大会のルールについて考え直します。

『ぼくの色、見つけた！』

しづ えるこ さく まつやま りん 絵
志津 栄子 作 末山 りん 絵
講談社



色覚障害と診断された信太郎は、過保護な母からの心配を煩わしく感じたことから、障害の存在を隠すようになります。5年生になったある日、担任の平林先生の使うチョークが普通のものとは違うことに気が付き…。信太郎の心に、新たな色が差し始めます。

『宇宙飛行士のすべてを見よう！』

うちゅう おしごと だいずかん
宇宙ステーションおしごと大図鑑
でいーけーしゃ へん くわはら ようこ やく
DK社 編 桑原 洋子 訳
のぐち そういち にほんごばんかんしゅう かわでしよほうしんしゃ
野口 聡一 日本語版監修 河出書房新社



地球の周りをぐるぐる回っている宇宙ステーション。そこには宇宙飛行士がかわるがわるやってきて、くらし、仕事をしています。それはどんなくらしで、どんな仕事なのか？数多くの写真を使って伝えてくれます。地上から宇宙ステーションを支える舞台裏の仕事も紹介されていますよ。